



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月6日

上場会社名 株式会社ニッスイ 上場取引所 東  
コード番号 1332 URL <https://www.nissui.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 浜田 晋吾  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画IR部長 (氏名) 広井 洋一郎 (TEL) 03-6206-7037  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月7日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	407,134	7.9	16,275	22.1	17,018	15.6	11,685	△0.5
2023年3月期第2四半期	377,207	11.1	13,332	△3.8	14,716	△8.9	11,747	3.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 24,874百万円(△11.0%) 2023年3月期第2四半期 27,937百万円(65.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	37.55	—
2023年3月期第2四半期	37.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	603,589	246,688	39.6
2023年3月期	549,013	220,635	39.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 238,860百万円 2023年3月期 216,843百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	6.7	27,000	10.3	29,000	4.4	21,500	1.3	69.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	312,430,277株	2023年3月期	312,430,277株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,198,523株	2023年3月期	1,196,828株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	311,232,555株	2023年3月期2Q	311,235,777株

(注) 当社は、第104期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(期末自己株式数223,600株、期中平均株式数223,600株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化に起因するインフレなどにより景気の先行きに不安感があるなか、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことや全国旅行支援の延長などにより人流やインバウンド需要の回復が進み経済環境に改善傾向が見られました。

世界経済（連結対象期間1－6月）につきましては、米国で雇用環境の改善や個人消費の増加が続き、欧州ではインバウンド需要の回復を含む人流の増加によりサービス業が堅調に推移しましたが、欧米とも高インフレや政策金利の引き上げが続く難しい状況でした。

足元では、欧米で地政学リスクの高まりによる原油価格の上昇など、インフレ再燃による景気減速が懸念され、国内では社会経済活動の回復やインバウンド需要に期待がある一方、急速な円安による経済への悪影響が懸念されるなど益々不透明な状況となっています。

当社および当社グループにつきましては、一昨年よりコストアップで苦戦していた食品事業が国内外とも値上げ効果が継続し大幅な増益となりました。一方で、水産事業は国内養殖がぶりを中心に堅調に推移したものの、主力の鮭鱒・すりみなどの市況が下落し減益となりました。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は4,071億34百万円（前年同期比299億27百万円増）、営業利益は162億75百万円（前年同期比29億42百万円増）、経常利益は170億18百万円（前年同期比23億1百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116億85百万円（前年同期比62百万円減）となりました。なお、前期には連結子会社の日本製薬株式会社（現・島津ダイアグノスティクス株式会社）の売却益が計上されています。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2024年3月期 第2四半期	407,134	16,275	17,018	11,685
2023年3月期 第2四半期	377,207	13,332	14,716	11,747
前年同期増減	29,927	2,942	2,301	△62
前年同期比	107.9%	122.1%	115.6%	99.5%

セグメント別の概況は次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益又は 営業損失(△)	前年同期増減	前年同期比
水産事業	163,253	5,799	103.7%	5,513	△2,712	67.0%
食品事業	219,113	31,732	116.9%	14,152	7,207	203.8%
ファイン事業	7,930	△9,188	46.3%	△33	△1,835	－%
物流事業	7,797	△234	97.1%	895	17	102.0%
その他(注)	9,038	1,818	125.2%	369	△36	91.0%
全社経費	－	－	－%	△4,622	302	93.9%
合計	407,134	29,927	107.9%	16,275	2,942	122.1%

(注) 「その他」：エンジニアリング（工場・設備機器の企画・設計・施工等）事業、船舶運航事業等。

## (1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,632億53百万円（前年同期比57億99百万円増）となり、営業利益は55億13百万円（前年同期比27億12百万円減）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

・いわし、さばなどの漁獲が堅調に推移し増収・増益となりました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

・秋口から競合の養殖ぶりの供給増が見込まれることから、春・夏でも高品質なぶりを供給できる完全養殖の強みを活かし前倒し販売を行いました。また、銀鮭で養殖オペレーションの改善により斃死・成長遅れもなく水揚げ数量が増加したことに加え、養殖まぐろの販売価格が堅調に推移したことにより増収・増益となりました。

【南米】

・生育環境改良による生残率の改善やトラウトの販売数量の増加、平均販売価格が上昇していたこともあり増収となりましたが、第2四半期末に向けて鮭鱒市況が調整局面に入ったことで在池魚評価（注1）の影響が大きくなり減益となりました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、減益

【日本】

・外食・産業給食向けの食材化商品で値上げ効果が出始めたうえ、ぶりを中心とした国内養殖魚、魚油・ミールなどの販売が好調に推移しましたが、主力の鮭鱒・すりみ・輸入冷凍まぐろの市況が調整局面に入り、買い控えも見られたこともあり減収・減益となりました。

【北米】

・すけそうだらの漁獲枠増加により生産数量が増加した反面、人件費などのコストアップに加え、すりみ・フィレ価格の下落により増収・減益となりました。

【欧州】

・水産市況が調整局面に入り荷動きも低下したことに加え、すけそうだらの在庫評価減があり減益となりました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は2,191億13百万円(前年同期比317億32百万円増)となり、営業利益は141億52百万円(前年同期比72億7百万円増)となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益

【日本】

・家庭用・業務用とも値上げにより収益構造が改善し増収・増益となりました。業務用は人流回復の効果もあり外食・量販店惣菜向け冷凍食品の販売が堅調に推移しましたが、家庭用は値上げの影響で販売数量が減少し始めました。

【北米】

・高値疲れと思われる販売数量の減少が見られるものの、家庭用・業務用ともに値上げ効果により全体をカバーし増収・増益となりました。

【欧州】

・英国の改善に加え、スペイン・イタリアなどへ販売エリア拡大を進めました。フランス・ドイツでは販売数量の減少が見られましたが、値上げ効果もあり増収・増益となりました。

チルド事業：前年同期比で増収、増益

・人流回復でコンビニエンスストア向けおにぎり・サラダの販売が増加するなどバンダー事業が好調に推移しました。また、2023年7月から同業のバンダー事業を営む株式会社グルメデリカが連結子会社として加わったことが寄与し増収・増益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料(注2)および機能性食品(注3)などの生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は79億30百万円(前年同期比91億88百万円減)となり、営業損失は33百万円(前年同期比18億35百万円減)となりました。

- ・2022年9月に連結子会社の日水製薬株式会社(現・島津ダイアグノスティクス株式会社)の全株式を売却したことに加え、医薬原料の米国向け輸出の中断、巣ごもり需要の減速による通信販売の減少などがあり減収・減益となりました。

#### (4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は77億97百万円(前年同期比2億34百万円減)となり、営業利益は8億95百万円(前年同期比17百万円増)となりました。

- ・冷蔵倉庫事業・通関事業において取扱い数量の減少があり減収となりましたが、電力料・人件費のコストアップに対して作業の効率化・保管料の値上げを進めたことにより収益性が改善し増益となりました。

(注1) 国際財務報告基準(IFRS)に基づき、海面養殖魚(在池魚)について出荷想定価格による評価を実施。

(注2) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。

(注3) 主に通信販売している機能性表示食品「ごま豆乳仕立てのみんなのみかたDHA」、特定保健用食品「イマークS」などの健康食品。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債、及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	増減
流動資産	304,349	335,964	31,614
(うち 棚卸資産)	175,884	195,423	19,539
固定資産	244,664	267,625	22,961
資産合計	549,013	603,589	54,576
流動負債	198,771	227,727	28,956
固定負債	129,606	129,174	△432
負債合計	328,377	356,901	28,523
純資産合計	220,635	246,688	26,052

#### 資産

資産合計は前連結会計年度末に比べて545億76百万円増の6,035億89百万円(9.9%増)となりました。

流動資産は316億14百万円増の3,359億64百万円(10.4%増)となりました。売上増加などにより受取手形及び売掛金が175億85百万円増加したこと、棚卸資産が195億39百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は229億61百万円増の2,676億25百万円(9.4%増)となりました。新規連結化などにより有形固定資産が171億49百万円増加しました。

#### 負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて285億23百万円増の3,569億1百万円(8.7%増)となりました。

流動負債は289億56百万円増の2,277億27百万円(14.6%増)となりました。運転資金需要増などにより短期借入金が増加したことが主な要因です。

固定負債は4億32百万円減の1,291億74百万円(0.3%減)となりました。返済により長期借入金が増加したことが主な要因です。

#### 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて260億52百万円増加し、2,466億88百万円(11.8%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益を116億85百万円計上したこと、剰余金の配当を31億15百万円行ったこと、円安の影響により為替換算調整勘定が116億19百万円増加したこと、新規連結化などにより非支配株主持分が40億34百万円増加したことなどによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,868	17,134	30,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,165	△19,024	△8,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,899	492	△21,407
現金及び現金同等物期末残高	15,407	14,159	△1,248

営業活動によるキャッシュ・フローは、171億34百万円の収入（前年同期は128億68百万円の支出）となりました。税金等調整前四半期純利益および減価償却費の合計が278億67百万円となった一方で、売上債権をはじめ運転資本の増加による資金の減少が123億96百万円、法人税等の支払額が15億60百万円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、190億24百万円の支出（前年同期比88億59百万円の支出増）となりました。国内における生産設備への投資等に伴う有形固定資産の取得による支出が143億28百万円あったことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億92百万円の収入（前年同期比214億7百万円の収入減）となりました。長期借入金の返済による支出が67億20百万円、配当金の支払額が31億10百万円あった一方で、短期借入金の増加が92億78百万円あったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

急激な円安により売上高が上振れしていることを踏まえ、売上高について下記の通り修正いたします。

各段階損益につきましては、インフレ再燃・景気減速の懸念がある一方で、特に国内では人流の回復・インバウンド需要への期待もあり、年末需要期の市況や消費動向を見極めることが必要と判断し変更しておりません。

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	800,000	27,000	29,000	21,500	69.08円
今回発表予想（B）	820,000	27,000	29,000	21,500	69.08円
差額（B－A）	20,000	－	－	－	－
差額率（％）	2.5%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	768,181	24,488	27,776	21,233	68.22円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,376	10,291
受取手形及び売掛金	95,690	113,276
商品及び製品	92,823	108,400
仕掛品	31,670	35,711
原材料及び貯蔵品	51,389	51,312
その他	22,817	17,452
貸倒引当金	△419	△480
流動資産合計	304,349	335,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,671	66,759
その他(純額)	88,346	99,407
有形固定資産合計	149,017	166,166
無形固定資産		
のれん	1,422	2,312
その他	12,659	14,700
無形固定資産合計	14,082	17,013
投資その他の資産		
投資有価証券	29,916	30,198
関係会社株式	38,191	40,239
退職給付に係る資産	483	488
繰延税金資産	2,625	2,962
その他	11,420	11,704
貸倒引当金	△1,072	△1,149
投資その他の資産合計	81,564	84,445
固定資産合計	244,664	267,625
資産合計	549,013	603,589



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,138	59,763
短期借入金	100,621	110,572
未払法人税等	3,151	4,967
未払費用	25,846	30,763
引当金	3,865	3,911
その他	15,147	17,749
流動負債合計	198,771	227,727
固定負債		
長期借入金	104,913	103,026
引当金	31	71
退職給付に係る負債	11,097	11,584
その他	13,563	14,491
固定負債合計	129,606	129,174
負債合計	328,377	356,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,685	30,685
資本剰余金	21,567	22,176
利益剰余金	137,621	146,191
自己株式	△417	△418
株主資本合計	189,457	198,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,046	12,235
繰延ヘッジ損益	561	938
為替換算調整勘定	19,541	31,161
退職給付に係る調整累計額	△3,763	△4,108
その他の包括利益累計額合計	27,385	40,226
非支配株主持分	3,792	7,827
純資産合計	220,635	246,688
負債純資産合計	549,013	603,589

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	377,207	407,134
売上原価	318,293	343,449
売上総利益	58,913	63,684
販売費及び一般管理費	45,580	47,409
営業利益	13,332	16,275
営業外収益		
受取利息	93	128
受取配当金	457	398
為替差益	438	206
持分法による投資利益	293	679
助成金収入	725	365
雑収入	168	422
営業外収益合計	2,177	2,200
営業外費用		
支払利息	603	1,361
雑支出	189	96
営業外費用合計	792	1,457
経常利益	14,716	17,018
特別利益		
固定資産売却益	56	34
投資有価証券売却益	103	1,775
関係会社株式売却益	3,464	—
持分変動利益	15	—
特別利益合計	3,641	1,809
特別損失		
固定資産処分損	246	320
投資有価証券売却損	124	—
投資有価証券評価損	229	—
関係会社株式売却損	5	—
関係会社株式評価損	106	—
災害による損失	484	—
事故関連損失	156	1,052
特別損失合計	1,355	1,372
税金等調整前四半期純利益	17,002	17,454
法人税、住民税及び事業税	5,326	6,568
法人税等調整額	△596	△1,086
法人税等合計	4,729	5,482
四半期純利益	12,273	11,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	525	286
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,747	11,685

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,273	11,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	922
繰延ヘッジ損益	1,066	475
為替換算調整勘定	13,355	10,522
退職給付に係る調整額	△788	△342
持分法適用会社に対する持分相当額	1,790	1,324
その他の包括利益合計	15,663	12,902
四半期包括利益	27,937	24,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,423	24,526
非支配株主に係る四半期包括利益	513	347

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,002	17,454
減価償却費	9,520	10,412
のれん償却額	121	246
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	153	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△809	△342
受取利息及び受取配当金	△550	△527
支払利息	603	1,361
持分法による投資損益 (△は益)	△293	△679
固定資産売却益	△56	△34
固定資産処分損	246	320
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	250	△1,775
災害損失	484	—
事故関連損失	—	1,052
関係会社株式売却損益 (△は益)	△3,459	—
持分変動損益 (△は益)	△15	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,919	△10,333
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,620	△11,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,136	4,956
未払費用の増減額 (△は減少)	197	4,505
その他	2,927	4,198
小計	△5,352	19,284
利息及び配当金の受取額	873	762
利息の支払額	△608	△1,352
災害損失の支払額	△3	—
災害による保険金の受取額	265	—
法人税等の支払額	△8,043	△1,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,868	17,134
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	2	5
有価証券の増減額 (△は増加)	28	—
有形固定資産の取得による支出	△9,744	△14,328
有形固定資産の売却による収入	96	62
無形固定資産の取得による支出	△884	△432
投資有価証券の取得による支出	△261	△161
投資有価証券の売却による収入	438	2,915
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	2,849	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	20	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,867	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	350	△6,278
その他	△193	△806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,165	△19,024

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	29,237	9,278
長期借入れによる収入	1,893	—
長期借入金の返済による支出	△6,120	△6,720
リース債務の返済による支出	△361	△422
配当金の支払額	△2,488	△3,110
非支配株主への配当金の支払額	△225	△111
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込み による収入	—	1,579
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△1
その他	△34	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,899	492
現金及び現金同等物に係る換算差額	858	1,055
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△275	△342
現金及び現金同等物の期首残高	15,683	14,245
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	256
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,407	14,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	157,454	187,381	17,119	8,032	369,986	7,220	377,207	—	377,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,087	537	170	6,038	15,833	1,144	16,977	△16,977	—
計	166,541	187,918	17,289	14,070	385,819	8,365	394,184	△16,977	377,207
セグメント利益	8,225	6,945	1,801	878	17,851	406	18,257	△4,925	13,332

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△4,925百万円には、セグメント間取引消去9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,934百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	163,253	219,113	7,930	7,797	398,095	9,038	407,134	—	407,134
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,231	344	229	5,773	14,579	1,016	15,595	△15,595	—
計	171,485	219,457	8,160	13,570	412,674	10,055	422,729	△15,595	407,134
セグメント利益又は損失(△)	5,513	14,152	△33	895	20,528	369	20,897	△4,622	16,275

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,622百万円には、セグメント間取引消去30百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,653百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

食品事業セグメントにおいて、株式会社グルメリカを連結の範囲に含めたことにより、当第2四半期連結会計期間において、のれんが発生しております。当該事象によるのれん増加額は972百万円であります。

なお、上記の金額は、当第2四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。